



ホームページ「Chiaki's home」

# 独り言

2005 年

江見千秋



表紙の「独り言」の書は、  
「書道村」主宰の  
川戸翠紫先生に書いていただきました。

## 新しい年

2005.1.5

新しい年、2005年になりました。

2004年の大晦日は雪に見舞われたが、明けて2005年の元旦は晴天になりました。

あたかも、「災」の字で総括された2004年が終り、今度は良い年になるんだ！・・・と暗示しているように・・・。

おかげで、二宮海岸で**初日の出**を迎え、近くの神社に**初詣**・・・2日には**箱根駅伝**を沿道で応援と、例年と同じように年の初めを過ごすことができました。

3

4

新しい年を迎えるといっても、時間の進むのは普通の日と変わらない筈だが、「正月」は何か違った感じがする・・・。  
これは、毎日の暮らしにも、チョット立ち止まって、「今は何処だ？」といったマイルストンのようなものを望んでいるからかもしれません。

ここまで、あまり良くない道を歩いて来たので少し疲れた・・・一休みして先へ進もう・・・この先の道の様子はどうか？と、これからの様子を伺う・・・「正月」とはこんなマイルストーンではないかと思うのです。

この「正月」は・・・

2004 年は、訳の分からない「イラク戦争」、今までに無い「数多くの台風の上陸」「熊の人里への出現」、多くの余震を伴った「地震」、年の暮れの「スマトラ沖地震・津波」・・・身の回りでも、田舎の家の塀が倒れ、山は荒れ、自宅の雨戸も壊れるなど・・・「災」の年でした。

2005 年はどうか？・・・残念ながら分からない・・・

「イラク戦争」も先が分からない、台風や地震といった天災もやってくると考えておく必要があるそう。

やはり悪路が続くと考えておく必要もありそうだ・・・

でも立ち上がって歩き出す必要がある。

できれば、悪路に耐えるような気持ちを持ち、途中の水溜りを避ける知恵を養いながら、時には道端に咲く草花に気持ちを和らげて貰いながら・・・とにかく歩を進めたい。

雪の大晦日が、明けての正月は晴天になったように・・・  
2005 年が良い年であることを願いましょう！



## 天災は防げるのだろうか？

2005.1.20

阪神・淡路大震災から十年が経った。

昨年末には、スマトラ沖地震で史上経験したことが無いような津波に見舞われ16万人を超す犠牲者が出たと報じられている。

十八日には、阪神・淡路大震災を経験した神戸で〈国連防災世界会議〉が開催され、津波警報システムの整備などについて議論が始まっている。

しかし、これで**天災は防げるのだろうか？**

複数の専門家は、津波警報システムの整備だけでは防げな

いと言っている。

被害を減らすにも、〈警報システム〉以上に〈災害についての教育〉が必要だと・・・そしてそれらを維持する〈メンテナンス〉ができなくては何の役にもたないと・・・

確かに、〈警報システム〉はハードウェア、〈教育〉はソフトウェア、〈メンテナンス〉は身に付いた文化と考えることができる。

今までも、ハードウェア（はこのもの）だけを作って、「出来た！」と考え失敗したことは沢山ある。

逆に、老人が子ども達に言い伝えたことにより、難を逃れた

ことが沢山ある。

今度のスマトラ沖地震・津波でも、「急に波が引いたら、高いところへ逃げろ！」と言い伝えられていた集落では犠牲者がほとんど無かった・・・と報じられている。

とにかく〈警報システム〉（ハードウェア）は単なる道具であり、その〈使い方〉（ソフトウェア）を知らなくては、道具の持ち腐れになってしまう。さらに、それらは、出来れば〈文化〉（メンテナンス）として受け継がれなくては意味が無い。

数十年から100年に1度経験するような天災に対応す

るには、やはり、「その時どう対応するか？」の文化作りが必要と思う。

「その時、出来るだけ被害を少なくするのには如何するか？」・・・は、やはり経験したことの断片でも、脳味噌の片隅において置くことがもつとも大切のようです。



十一月より、最近流行しているという、インターネットを利用した **BLOG** を始めました。

**BLOG** は、手軽なホームページのようなもので、日記帳に書く代わりにパソコンにキーインすれば、写真も付けられ楽しい画面になり、自分以外の方にも見てもらい、コメントも言っていただけののです。

始めて3ヵ月近く経ち、その間を振り返ってみると・・・毎日キーインする（書く）までには至っていませんが、携帯電話からでもアップできるなど、本当に手軽に・思いつくま

まが書け、記憶力の劣ってきている自分にとって大変便利なものです。

一方、自分の書いたことに、これを見た方がコメントを付けてくれる・・・これまた会話的で楽しいものです。

僕にとってさらなる効用は・・・

- 書き込みするために、自分の考えを整理する
- どう書けば、見る人にスムーズに伝わるかを考える
- 適切な言葉を考える・・・辞書を引く機会が多くなった
- 如何すれば、見て楽しい画面になるかを考える
- 他の方のコメントを読み、それに対しさらに考える
- 自分の知らなかったようなことに出会い機会が多くなっ

た

●楽しい言葉のキャッチボールができる  
などなど、いろいろあります。

パソコンの周りには、辞書が必要になり、外出時は、デジ  
カメと携帯電話が手放せなくなっていますが、これからも他  
の方の **BLOG** を参考にさせていただきながら楽しみたいと  
思っています。



## エンピツ削り

2005.2.20

先日、子ども達といっしょに、うぐいす笛や紙でつぼうを  
作って遊ぶ機会がありました。

その時、小学校2，3年位の子どもに「君達、ナイフを持っ  
ている？」と聞くと「持っていない！」との返事が返ってきま  
した。そこで「エンピツは何で削っているの？」と聞いたたら  
「エンピツ削り！」との返事・・・「ではこんなのか・・・」  
と手で回す仕種を見ると「違う！」とエンピツを押し込む仕  
種が帰ってきました。隣にいた友人と顔を見合わせ・・・唾  
然！

僕たちの子どもの頃は、エンピツはナイフで削るのが普通で（もつともエンピツ削り器なんか無かった・・・）、筆箱の中には肥後の守といった折りたたみ式のナイフが入っていたものです。苦勞して削ったエンピツは、先がガタガタで、ヤット芯が出たのを帳面にこすりつけて、字を書いていたのです。時には、ナイフの前に出ていた指まで削り、「ア痛！」と傷口を、血の止まるまで押さえたものです。こんな経験から、ナイフの刃の前には指を出してはいけないことを覚えしました。

最近では、ナイフを持ったことがない子ども達が、間違っても自分が痛くないゲームなどに夢中になり、しかもその中に、

15

ナイフやピストル、時には機関銃・・・と行ったものが氾濫しているのです。さらにゲームが終ると、「最初に戻る」といったようなボタンで、何もなつかたように元に戻るのです。

16

これでは、ナイフで刺すと痛い！との感覚も無く・・・、一度殺した相手も、スイッチを押せば生き返る・・・と子ども達は思わないだろうか・・・恐ろしいことである。

多少指に怪我をするかもしれないが、小学生でも、日常エンピツはナイフで削らせてはどうだろうか・・・指先を使うと、脳も刺激するというから・・・



数年前より、ボランティア活動の一つとして、町のパソコン講習会や小学校のパソコン授業や生活科の「むかし遊び」などに参加しています。

これらを通じ、物事を人に教えることが、如何に難しいかを痛感しています。

町のパソコン講習会では、受講されるのは一度に数名から一〇名ですが、パソコンを操作するのは始めての方を対象にすることが多く、講習会に参加された目的やレベルもさまざまです。

まず、パソコンと仲良くなってもらうことを念頭において進めるようにしているのですが、やはりマウスの操作がうまくいかない方、キーを捜すのに一所懸命で次の操作が遅れる方・・・などさまざまです。

このような場合、スタッフが連絡をとりながら、とにかく自分のペースで習っていたく・・・今日習ったのはこんなことですよと復習する・・・急ぐことなく講習会を進めることが大切のようです。

ここが、会社などの職場での講習会ともっとも異なるところです。

一方小学生が相手の場合、如何にこちらの話しに注目させ

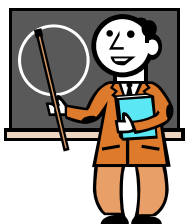
るか・・・その話の内容を、自分達の考え・仕種に置き換えさせるか・・・が、もつとも大切のようです。

子ども達は、一を聞いて十の仕種に発展させる名人です。チョット注意をそらすと、もう自分達でやっている・・・これは悪いことではないが、もうチョット、こちらの話も聞いてくれ！と「こつちを向いて！」と大きな声を出すこともありました。

子ども達と毎日付き合っておられる先生方は大変だろう！と思いつながら、自分が子どもの頃もこうであったかと思うと、ほほえましくも感じます。

とにかく、人に教えることは難しい・・・「相手の目を見

て話せ！」とよく言われるが、目を見ることが緊張にもつながるのでそこまではしないで、とにかく「**相手の立場に立って説明する！**」「**相手と共に楽しむ！**」ことが、もつとも大切のようです。



「災難は忘れた頃にやってくる！」・・・先日、久し振りに、木工作業中、カッターナイフで手を切った。  
**油断大敵！**とは結果論で、実は少し暖かくなったのをいいことに、晩酌したあとカッターナイフを使ったのです。  
さらに、通常は、やってはいけないこととしている、カッターナイフを手前に引く作業をしたのです。  
酔っ払い運転？の上に一方通行のところを逆走したようなもので、事故を起こしても不思議ではないのです。

最近、ある大手航空会社に事業改善命令が出されたとのこ  
21

とです。  
酔っ払い運転ではないが、組織的に酔っ払ったと同様、意識が朦朧としたところがあつたのではないかと思う。事故の起こる前の事業改善命令という注意はよかつた！  
22

晩酌で酔うのはよいが、その状態でカッターナイフの使用など危険な状況を作るのがよくない・・・酔った脳味噌に使い方のチェックをさせようとすることに無理がある。

とにかく、事故は起こるべくして起こっている・・・それも、拙いことが重なってである。  
反省する以外、手は無い・・・それよりも、この反省をこれ

からどう生かすかが大切なのです。

反省ではないが、子どもの頃よく切り傷をした。このような場合、母は「とにかく、傷口を押さえなさい！」と言っていた。今回の傷も、傷薬を少しつけただけで、傷口を押さえるように、近くにあった手ぬぐいを割いて、指を固定するよう縛り、そのまま寝た・・・その効果か、翌朝には血は止まっていた。この固定を2日続けたら、もう大丈夫な状態で治りました。

これからも趣味の木工を続けるが、この反省を思い出し、晩酌の後に刃物を持たないよう気を付けたい。

晩酌の後は、脳味噌が柔らかくなっているので、面白いアイデアも浮かぶと思うが、色付けか、パソコン操作程度で楽しむことにする。



ご愛顧いただいている**Chiaki's home** ホームページも7歳になりました。

HTMLタグで書いたTOPページだけのホームページでスタートしたのですが、皆さんのご訪問を励みに、ヨタヨタしながらも、何とか月2回の更新を行ってきました。

先日見たNHK番組のプロジェクトX「たたら製鉄復興への炎」で、途絶えかかっていた技の再度伝授に立ち上がった師が、何とか復興したいと努めた**弟子**に言った言葉は「**自分の**

25

仕事が好きになること！」でした。

26

このホームページが7歳を迎えられたのは、時にはズッコケそうになったが、皆さんに振り向いていただけのこのようなホームページの制作が好きだったからと思います。

ただ振り返ってみると、なんと代わり映えのしない、マンネリ化したものと反省しています。

TOPページのロゴは開設以来変わっていないし、アヒルのアニメーションも動く画像を試した数年前のままです。「サラリーマンを卒業し・・・」の書出しも、サラリーマンの卒業からもう一〇年経つのだから、もう必要のない言葉になっ

ています。

ホームページの開設のよかったことは、生活が濡れ落ち葉にならなかつたことです。

「独り言」に何を書こうか？と脳味噌を掻き混ぜた・・・「作品」のコンテンツに入れようと、趣味の作品を作った・・・「TOWN」に何か書こうと町の催しを追っかけたり、ボランティア活動に参加した・・・等々で退屈しない日々を送りました。

更に、昨年十一月には、このホームページと平行して、今流行のBLOGも開設しました。（野次馬根性發揮！）

今年は、自分が古希を迎える年でもあり、これからも同28  
じように楽しみたいと思いますが、年中には、何とかリニ  
ーアルしたいと思っています。

リニール作業も、楽しみの一つになるでしょう・・・



## 古稀

2005.4.20

過日七十歳の誕生日を迎えた・・・古稀である。  
今年の正月を迎えるまで、**七十歳・古稀**という言葉を考えもしなかった。  
しかし、生まれてから七十年経つのだから間違いない・・・  
従来 of 僕の意識では、七十歳といえはかなりの老人のイメージであつた。

サラリーマンを卒業し、第3の人生を迎えたのは5年前である。

僕の人生イメージは、大雑把に見習い三〇年・働き三〇年・

29

楽しみ三〇年である。

30

今は、楽しみの方が熟し始めた頃である・・・したがって、まだまだ気持ちは若い・・・楽しまなくちゃ・・・といったところである。

「古稀」の由来は、杜甫の詩「人生七十古来稀なり」よりきているとのこと・・・確かにその時代は、七十歳まで生きているのは稀なことであつたのだろう。

しかし、最近の平均寿命は男子で78歳・・・七十歳の平均余命は5年を超えているといわれている。

まだまだ楽しみの期間はある・・・とにかく、これからの毎日を楽ししく・大事に送りたいと思う。

この誕生日に、ボランティア活動グループの有志で祝いの宴を持っていたとき、家族からもバーベキューで祝ってもらった・・・楽しかった！  
左は、それぞれからいただいたバースデーケーキである。



有志より・・・



家族から・・・

## 事故

2005.5.5

JR西日本で、悲惨な事故が起こった・・・  
亡くなられた方々に心から哀悼の意を表すとともに、怪我をされた方々には心からお見舞い申し上げます。

事故の原因について、TV・新聞でいろいろ報道されていますが、この種事故の究明は非常に難しいと想像します。  
事故の直接原因から、その状況を作ったのは何か？・・・  
更にその誘因は・・・更にその背景は・・・等々、明らかにすることは多々ある筈です。

直接原因にしても、運転手のミスなのか？車両整備に問題は

無かったのか？保線には問題無かったのか？等々究明すること数知れず、現在関係者において懸命な作業が行われていることと思います。

一つ考えさせられるのは、なぜあのような過密のダイヤが組まれ、その過密なダイヤに対しそれをカバーする対策が組まれていたか？ということです。

人は、間違いを起こすものと、まず考える必要があると思うのです。

時間遅れ、オーバーランは日頃もあったと報じられています。当然とは言いたくないが、人が操作していることからして、

あつてもおかしくないと思います。

なぜ、秒単位の運行をしなければならいのでしょうか？確かに遅れるとダイヤが乱れる・・・乗継ができない・・・いろいろ理由はあると思いますが、秒でなく分単位で物事を考えても差支えないと思うのです。

これらを利用する者も、もつと余裕を持った気持ちで対応する必要があるのではないのでしょうか？

どうしても、秒単位で物事を進める必要のあるときは、「標識を見てそれを守れ！」的な人の判断でなく、それ相当の対応策を講じた後、運行する必要があるのです。

「そんなに急いで何処へ行く！」とか「ゆっくり走ろうX

XX県！」といった標語を目にしますが、人の行動は、そのようなことを考える余裕が必要と思うのです。

サラリーマンをリタイアした身だから、勝手なことを言えるのかもしれませんが、「鳴くまで待とうホトトギス！」といった気持ちで・・・



## 便秘

2005.5.25

過日田舎に帰省しました。数日の慣れない草刈と帰路約60kmの運転をして帰宅した後、腰に痛みを感じました。疲れなれない筋肉を酷使したからか・・・と、癒えるのを待っていたのですが、少しも良くなる兆しが見えず、ついに緊急外来で病院に行きました。結果は便秘でした。下剤処理をして、一応通りを良くして帰宅したのですが、数日経つ現在も、なんだかお腹が張った気分です。

この経験で感じたのですが、やはり物事は当然のことながら便秘してはダメだ・・・ということです。

まず目に付くのは、河川です。

源流から河口までスムーズに流れていれば、水も綺麗だし、川岸も美しい・・・しかし、何処かに澱みがあるとそこにゴミが溜まり水質を悪くする。

「便秘の予防には水分を取るように・・・」と言われるが、確かに河川も水流が少ないと、流れは悪くなり、澱みには益々ゴミが溜まる・・・

日頃、我々が必要としている情報も同じだろうと思います。発信源から利用する人に届くまで、清流のように流れ着いてくれればよいが、途中でできた澱み（歪曲）や留まってしま

い、利用する人に届いた時には、相当汚れた（間違った）内容になっていることが多くあります。

マスコミにしても、見聞きする人に興味あるような内容だけが報道されて、情報が平等になっていない面が多くみられます。

自分達が生活する上で必要としている仕事上の情報、行政などからの情報もそういうことが多いようです。

これらに惑わされないようにするためには、源流（発信源）ではどんな内容が流されたかをよく考え、一方では自分の周りでは便秘現象を起こさないよう努めたいものです。

僕の便秘も早く癒え、体内も清流に戻ることを願いながら  
キーインしています。



## 作って覚える！

2005.6.10

パソコンの資料などに「作って覚える Word!」とか「作って覚える Excel!」とかいった見出しを目にすることがあります。

講習会のスタッフを務め、最後に「とにかく作ってみる」とが操作を覚えるもつとも早道です!」などと言うこともよくあります。

「作って覚える!」のは、パソコンだけではないと思うのですが、道具を使う場合には、とにかく「道具は使ってみる!」ことが大事であり、さらにシュミレーションだけでなく

く、その道具を使って「作って覚える！」ことが、成果を出す早道の筈です。

「作る」ことで成果を確認でき、うまく行かなかった場合も、なぜそうなったかを知る上でもっとも役立つことだと思います。

操作を覚えようと、テキストや参考資料を読んでも、なかなか理解できません。説明を聞いても、聞いている時は解ったと思うのですが、実は理解したような錯覚で、自分でやり始めると、すぐ躓いてしまいます。

自分の意図したものを作ることにまず挑戦する・・・躓け

41

ば、起き上がり再度挑戦する・・・

42

このことが、物事を覚えるのにもっともよい方法であり早道だと思います。

もう一つ、自分の意図したもの・・・目的を持たないと、なかなか覚えられないことも確かです。

とにかく「作って覚える！」・・・特に、年を重ね、硬くなりつつある脳味噌を鍛えるためには「作る！」ことが必須のようです。

もの作りに緒戦！・・・



## 手を広げすぎた!?

2005.6.25

ITリテラシーを・・・と言われだして、かなり経つ。  
自分のホームページを開設して7年前になる。その後も、世  
の中のIT技術は驚くほどのスピードで進歩し、同時に身近  
なものになってきた。

好奇心にかられ、自分もどんどん楽しんでいる。  
パソコンも4台目であり、ホームページの更新もマンネリ化  
しながらも続けている。  
その他にも・・・

・ ホームページも最初のもの他に、6サイト（3サイト  
はコンテンツの格納のみ）  
・ 携帯電話・・・電話・メール・カメラ・最近ではBLOG  
へのアップ  
・ BLOG・・・これも3ヶ所  
・ メッセンジャー・・・2ヶ所  
・ 最近では、ホームページにCGIコンテンツを取り込んで  
いる

列挙してみると、どうも手を広げすぎた!？ようだ・・・

便利な道具ができ、いろんな使い方ができるので、自分に

とつては面白いが、扱う内容がどうも散漫になったり重複しているものが多くなっている。

新しい道具をテストするのはいいが、それらの道具を何に使うか？・・・はよく整理しておく必要がある。

そうしないと、発信する情報を見聞きしていただく方々をも混乱させる恐れが多分にある。

そう思っても、好奇心旺盛な自分は、これからも新しい道具・手法に挑戦するはずである。

であれば、道具は適材適所に使用し、扱う内容を整理していきたいと思う。



## 心配り・・・

2005.7.10

過日、二宮町生涯学習センター（ラディアン）で神奈川県立青少年センター主催の「移動科学教室」が開かれ、お手伝いのボランティアとして参加しました。

この催しは、子ども達に実験を通して科学に興味を持たせることが狙いで、当日は50名あまりの小学生が参加し、自分達でもいろいろな実験を体験しました。

その中に、音に関する「ミニ工作」があり、樹脂コップをハサミで切る作業がありました。

ハサミは青少年センター側にて準備されたのですが、作業の説明の時「左利きの方は、左利き用のハサミを準備しており

ますから、それを選んでくださいと！」との話がありました。  
自分自身これを耳にし「さすが・・・」と感じました。

子ども達を対象に、工作教室的な催しにスタッフとして参加することがあります。そこで使用するハサミは持参させることが多いですが、開催側で準備することもあります。しかし、左利き用まで考えたことはありませんでした。

しかし過去のことを思い返すと、やはりこちらが差し出したハサミを使いにくそうにしていた子どもがいました。その子は左利きだったのです。

作業にハサミのような道具を準備する場合、準備する側は、  
47

左利きでも右利きでも、気にすることなく楽しく作業が出来るように準備するのが、いわゆる「心配り！」だろうと肝に銘じました。 48

とにかく「心配り！」は、まず相手が満足とはいかないまでも、少なくとも気まずい思いをさせないような配慮だろうと思います。

逆の立場に立って考えれば「心配り！」が何であるかが、より解り易いのではないかとも思います。



自分は物を作るのが好きである。

特に目的も無く、気が向くまま思いつくままに、木工作品やインターネットのホームページを作っている。

作品が出来上がったとき嬉しいが、もう次のことを考えている。

ということは、手足を動かし物づくりをするのも楽しいが、むしろ何をどの様に作るかを考えているときに楽しいのである。

例えば、次に紹介したような**ジグソーパズル**を作るに際しても、イラストを眺めこれをどんな部分に分解すれば面白い

かな〜とか、表面を仕上げた材料の木目をどんな方向にするかな〜、色仕上げは何で施すと木目が生きるかな〜などなど作りながら考えることが楽しいのである。

このWebページもかなりマンネリズム化して、訪れていただく方に「またか・・・」と思われると思い、何処をどの様にリニューアルしようかな〜と考えているところだが・・・これを考えるのがまた楽しい！。

物づくりの素材は何処にでもころがっている。

次にどのような**ジグソーパズル**を作ろうかな〜と考えていると、目にしたもの、例えばジグソーパズルとは関係ない折

り紙の鶴がヒントになり、これをどの様にピース化すれば面白いかと考え始める・・・このときがもっとも楽しい時なのである。

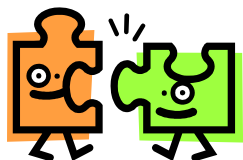
この「独り言」コーナーも、更新予定の少し前から何を呟こうか？と脳味噌を活性化して、周りをキョロキョロ見回している。やはりそのときが楽しい！書いてアップしてしまえば、また別のことを考えている。

これからも気が向くまま思いつくままに脳味噌を活性化し、連続性はないが、考えることを楽しみながら作品を作っていくつもりです。

上記「独り言」をアップした後で、TVの「N響アワー」を見ました。

これまた考えました・・・タクトを振ることはどういうことか？・・・と

この考えの楽しみは次回に・・・乞うご期待！  
ただし、それまでに新しいテーマが無ければ・・・



自分の意見が通らないからと議会を解散した総理大臣が、総選挙に際し、同じ党員で反対意見の選挙区に「刺客」を送るとか・・・

「刺客」という言葉は、戦国物語などに出てきて、現代では無くなったかと思っていた。

「刺客」を広辞苑で引くと、「暗殺を行う人」とある。さらに、「暗殺」を見ると、「ひそかにねらって人を殺すこと。多く、政治的に対立している要人を殺すこと」とある。

「刺客」騒ぎは一つのメディア戦略かもしれないが、今の世にこんなことを行うのは、民主主義を否定した我侭（独裁）主義が見え隠れする・・・民主主義をリードすべき政治家が、この有様では、民主主義を子ども達にどう説明するのだろうか・・・

自分の意見に従うものを集め、落下傘で反対意見の人のいるところに降ろし、「自分の気に入らない者は虐めてやれ・・・」「自分の意見に反対する者は葬ってやれ・・・」と言わんばかりである。

戦いは懲り懲りと口先では言うが、やっていることはまるで戦国時代に戻ったような様相である。

口先だけで、「平和!」「仲良く!」などと言っても、実態がこの有様ではガツカリする・・・と同時に、政治不信・大人不信の原因になりかねない。

とは言うものの、まず大事なものは政治家を選ぶ我々有権者の心構えである。

口先だけの政治家、それを可笑しく面白く増幅・演出しているメディアに惑わされることなく、今度の選挙では、なしの1票を大事に使いたいものである。

と同時に「刺客」は、早く死語にしたいものである。



**シマッタ! 考える! パンザイ!**

2005.9.10

ここ何回か、生涯学習ボランティアのスタッフとして子ども達との催しに参加しました。  
その時々感じたことです・・・

子ども達は、何時も元気一杯です!

ただ、少しばかりマイペースで我が儘なところがあります。  
他人の言うことを聞くのが苦手なようです。

自分の気に入らないことはしない・・・少しできないと、人に頼る・・・

「シマッタ！」の後の、自分で「考える！」ことが苦手のようです。

例えば・・・

説明を充分聞かないで作業を始めだす・・・巧く行かない！・・・こちらが説明をしている間にも「できない！どうするの・・・」と聞いてくる。マイペースである・・・聞くのはよいが、「今説明をしているから、よく聞いて！」と言うと、不満げな顔で黙ってしまう。

親御さんが同伴されることもしばしばあるが、作業に親御さんが参加され、子どもは横で見ている。

これもあまり歓迎しない・・・これでは、子どもの「シマッタ！ 考える！ バンザイ！」の感激が薄い。

これは指導する大人側の問題と思うが、ナイフなどをあまり使ったことが無いようです。

したがって「指を切った！」「なぜ？」といった「シマッタ！ 考える！」も機会が少なくなっている。自分が「痛い！ シマッタ！」と思い、なぜそうなったかを「考える！」・・・今度はそのことはしない！の「シマッタ！ 考える！ バンザイ！」の大事な経験が少なくなっているようです。

とにかく大人もそうであるが、特に子ども達には「シマッタ！ 考える！ バンザイ！」の繰り返しが大事だと思うのです。このことが、日頃大切な**生活の知恵**を考える糧にもなるはずです。

「シマッタ！」はあまり望まないが、とにかく「なぜ？なぜ？・・・」の「考える！」癖をつけ、大きな「バンザイ！」に結び付けたいものです。  
子ども達にも、その癖を付けるようにさせたいものです。



## 中秋の名月

2005.9.25

今年の**中秋の名月**は素晴らしかった！

これが**中秋の名月**だ・・・と、久しぶりに気持ち癒されました。

そして、子どもの頃にタイムスリップし、山陰の上に浮かぶ満月と庭先のススキを背景とした縁側のお団子を思い出しました。

月は、新月・三日月・満月・下弦の月・・・そしてまた新月と、刻々姿を変えます。

そのために、昔から人々の心を引き付け、その時々に応じ  
い名前で呼ばれ、見る人の気持ちを載せて数々の歌の対象に  
なっています。

30数年前には、その月に人類が一步を印した。また、  
NASAでは月に行く計画が策定されている。

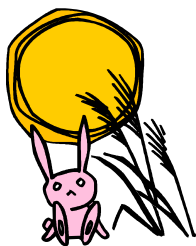
科学の発展を基に行われる月探検にもわくわくするような  
興味を感じるが、刻々と姿を変える月を眺めるのも、心が癒  
されることにおいて、月探検に勝るものと思います。

昨今、過去に経験しないような巨大台風に痛めつけられて  
いる・・・この原因は、ハッキリしないが、地球温暖化にも

関係あるのではないかと言われている。

また、それによる被害は、これまた想像を絶している・・・  
これも、人間の驕りを省みず、堤防を構築して水面以下に生  
活していることも原因の一つではないかと思っている。

何時でも、心を癒してくれる月の姿が透き通った空に眺め  
られるよう、月探検の前に、地球温暖化などで地球を傷つけ  
ることを止め、地球と仲良くする方策を考えるべきだと思  
います。



あるボランティア講習会の席上、「一般に行政組織は、縦割りの考えが強い、その縦割りを横に編んでいくのがボランティアである。」といった趣旨の話を聞いたことがあります。確かに、予算を中心に動く組織は縦割りの考えが強いことによく遭遇します。

「もう少し、横を見ながら・・・横と助け合いながら・・・物事を進めると、効率がよいのに！」と思うことが多々あります。

しかし、自分の責任を果たすには、自分の守備範囲を守るのが精一杯かも知れません。

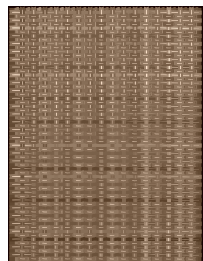
そこで、自主的に動けるボランティアが、縦割りの組織を横に編んでいくように・・・いわゆる横割りの役目をする必要があるのかもしれない。

布に例えれば、縦糸の役目は道順を明確にし、前後でひっぱても切れないようにしている。

横糸は、その縦糸がバラバラにならないように織っている。これで、はじめて物を暖かく包むことができる・・・町に例えれば、縦糸横糸で織られる組織で、町民を安全に包むことができるのだらうと思います。

一人ひとりのボランティア活動の力は小さいと思うが、多

くのボランテアによって、町行政の縦糸を織り、包まれると安心できる布の横糸になりたいものです。



みんな一生懸命生きている！

2005.10.25 66

この「独り言」の欄に、何を呟こうかと思っていたとき、番組の名前は気にしていなかったが、「く」から「みんな一生懸命生きている！」という言葉が聞こえた。

冬を間近にして、普段は避けてくれている？蚊にも刺されることがある。これも、蚊が**一生懸命生きている！**ためである。

蚊にかぎらず、また冬を迎える時期でなくても、動植物は生き延びよう、子孫を残そうと**みんな一生懸命生きている！**のである。

BSE 騒動で輸入する・しないと騒がれているアメリカの牛も、鳥インフルエンザで焼却運命にある鶏も、**みんな一生懸命生きよう！**と今日も餌を食べているはずである。当人？達は、自分がそうだとは思ってもせず、ひたすらに**みんな一生懸命生きよう！**と努めているのである。

人間も**一生懸命生きよう！**と日夜頑張っている。ただし、人に迷惑を掛けるような行為、特に自分だけの勝手な行為、戦争などの争いは**一生懸命生きている！**に値しないと思う。

とにかく、目に見えないようなチツチャナ虫から、声も出さない植物まで**みんな一生懸命生きている！**のである。

少なくとも、相手を思いやつて**みんな一生懸命生きている！**の環境を作りたいものである。



野次馬根性が先行し、最近利用者が急上昇のBLOGに、無計画に5つ加入してしまいました。

BLOGは、日記風に気ままに利用できるホームページのようなものであるが、多くは無料で簡単に利用できる。

BLOGを提供している会社は、特に数えていないが数十はあると思うし、個人で開設している人もいる。

1年余り前から興味を持ち、気軽に開設できることから現在5つも開設してしまいました。

今になって、混迷をきたしていることが2つあります・・・

・1つは・・・

5つもあると、どれに何を投稿すればよいか判らなくな  
ったこと・・・

・2つ目は・・・

BLOGは、いくなれば「大同小異」なこと・・・

最初の問題は、どのBLOGにどんな内容を纏めればよい  
か・・・の問題である。

複数のBLOGに、思いつくままのことを書いていると、見  
ていただく方をも困らせてしまう・・・結果として訪問して  
いただけなくなる。

投稿するテーマの整理の問題ですが・・・**BLOG**の仕掛けをみると、「記事のカテゴリ」という整理の仕方が整っており、内容を整理投稿するのはこれがよいのではないかと思う。

2つ目の問題は、**BLOG**の提供元によって、特徴があるのではないかと思いいつにも参加した・・・

確かに各提供元によって特徴はあるが、それはデザインの種類など、かなり細かいところであり、**BLOG**の構成など大まかなところはほとんど同じです。

逆に、投稿や更新の手法が少しずつ異なり、**BLOG**によって、書き込み時違いを考えながら操作しなくてはならず、複

数の**BLOG**を使いこなすには、頭の体操にはなる？が、厄介なものです。72

「走りながら考える！」的に、無計画に進めてきたが、この種単純なものほど対応の種類を少なくするといったことが必要だと反省しきりです。かといって、すぐ変更するのは、今まで見ていただいた方にも混乱の種をまくことになる。

「野次馬根性！」もほどほどに、また「考えた後、走る！」ことを肝に銘じて改善したいと思っています。

ただし、「野次馬根性!」「走りながら考える!」も時によつては楽しいので、これも捨てきれないと思っています。



## ゆとりと進歩

2005.12.10

ゆとりと進歩・・・進歩は生活にゆとりをもたらすためにあるものと思っている(単純過ぎるかな?)

社会人になる少し前、コンピュータが誕生し、その面の研究室に入った。今では、博物館でしかお目にかかれない「真空管」のコンピュータが研究・試作されていた。就職する頃には「トランジスタ」のコンピュータになり、少し立つと「IC」「LSI」のコンピュータになった。

「真空管」のコンピュータは、大きな部屋を独占していたが、しばらくすると、書棚くらいになり、さらに袖机程度になっ

た。今では、掌にのるくらいになっている。

それらの技術を使った人口衛星も地球の周りを数え切れないほど周り、知りたい情報も、このような道具を使い、インターネットを介して、瞬時に知ることができる。

細かい数字は覚えていないが、技術は対数的に進歩すると言われている。

宇宙開発を例にとると、アポロが月に到着したのは、もう30数年前で。

このように技術は**進歩**している・・・しかし、**ゆとり**はそ

れに沿って豊になっているだろうか？

ゼンゼンそうになっていないように見える。逆に、技術の進歩に反比例して悪くなっているようにも思える。

**進歩**する技術を利用しての戦争、技術の**進歩**では解決できない地球温暖化・自然破壊・・・などなど、むしろ**進歩**という言葉を隠れ蓑に**ゆとり**を食いつぶしているようにしか思えない。

なぜこうなるのだろうか？

**進歩**が個人的欲望・・・金儲けや権利欲・・・に利用され、世界大多数の人がそれらの**進歩**を利用できないからではないだろうか？

そうなる、人以外の動物・植物にもその付けが回ることになる。

なんとか、常日頃努力されている**進歩**を**ゆとり**に結び付けたいものである。



いの一年・・・

2005.12.25

今年は、生まれてはじめて経験することがありました・・・それは、この歳になると誰でも経験することなのですが「**古稀**」ということです。

「**古稀**」・・・70歳というのは、自分の頭では、お年寄り・老人・・・といったイメージで、自分がそのマイルストーンを通過するとは、ゼンゼン気にしていなかったのです。

「**古稀**」・・・「人生七十古来稀なり」・・・気にしていなかったことですが、元気で**稀**なのを経験し、家族や仲間たちに祝ってもらったことはありがたいことでした。

今年も、他の人には迷惑をかけたことも多々あったと思いますが、マイペースで楽しく過ごせた一年でした。

それは、まず家族共々健康であったからです。さらに、楽しい仲間と次のようなボランティア活動ができたからです。

- ・パソコン講習会のお手伝い
- ・生涯学習ボランティアとしての、各種催しへの参加
- ・小学校の「むかし遊び」などのお手伝い
- ・趣味の木工作品を子ども達が楽しんでくれたこと

また自分では・・・  
趣味の木工も気の向くままにでき、このホームページもほぼ月に2回の更新ができ、その外にもBLOGを楽しめたこと

そしてそれらに多くの方々が訪れていただいたこと

などなど・・・

とにかく、マイペースであるが、自分の趣味を話題に、子ども達を含め多くの人たちと楽しい時間が沢山持てたこと・・・これらが、この一年を楽しく過ごさせてくれたのだろうと感謝しています。

皆さん、有難うございました！

そして、来年もよろしく願います！

